

パブリックコメント「衣浦定住自立圏共生ビジョン(案)」への意見の概要と市の考え方 (受付期間:平成 23 年 11 月 15 日(火)から 12 月 14 日(水))

項目	受付日	提出方法	意見等の要旨	意見等区分	意見等の概要	市の考え方
1	12月7日	メール	防災機能の情報公開 (防災情報の一元化と公開周知)	新規事業 の提案	私は、高浜に住み、刈谷に勤務しています。通勤途上で災害発生の場合、例えば、刈谷市の防災体制、避難場所、危険域等々の情報は全く確認機会なく途方にくれることが予想されます。 衣浦圏の防災体制や防災情報を一元化されて情報公開、周知化をお願いしたい。	定住自立圏の取組み内容は、刈谷市と締結しています協定書のなかで定められており、防災関係については含まれていないことから、ご提案の内容を反映するには協定内容の見直しなど早期の実現は難しいと考えます。 しかしながら、市では、碧南市、刈谷市、安城市、知立市の5市で災害時の応援協定を締結していることから、ご提案の内容を、この5市の枠組みの中で実現できるよう検討していきたいと思います。
2	12月7日	メール	衣浦水圏 (環境浄化のための共同 施策)	新規事業 の提案	衣浦港とこの港に流れ込む境川、逢妻川等の河川を水圏とする総合的な環境浄化活動を、4市町の共同、共通の取り組み課題として積極的な展開企画をお願いしたい。 また、この水圏を市民生活と結びつける施策企画や意識高揚を狙いとするイベントも切望します。 さらに、災害発生時の復興支援水路として活用可能性の検証も合わせてお願いします。	市では本年7月に「高浜市緑の基本計画」を策定し、水や緑を活かした市民参加型のイベント活動を積極的に企画・実施することとしています。 また、緑化行事や緑化事例の積極的な紹介を行うほか、地域の緑を紹介するなど、緑化についての意識を高める広報活動の強化に努めることとしています。 以上のような本市独自の取り組みを通じ圏域内での環境保全活動ができるよう努めていきたいと思います。
3	12月7日	メール	モートピア構想 (車社会のための都市計 画や都市施設の企画整 備)	新規事業 の提案	自動車関連産業の集積地で有りながら、車のある生活を利便化する施策や施設、取組みが若干、不足の感を覚えます。 例えば、最近、話題の電気自動車用の充電施設や、電気自動車のレンタル制度やシェアリングするような取組や支援策の企画はできないのでしょうか。 (高浜市であれば、豊田織機 <トヨタ L&F>社との共同企画の可能性が有ります) 道路構造は、全国一律ですが、もっと、安全・便利な道路を考案、構築できないのでしょうか。 (419号線に車線カラー化が導入されていますが、良いアイデア事例と思えます) 最近、自転車の運行法が制定されましたが、これに適應する道路の整備も課題かと思います。 全国に、車のある社会生活を提案するような都市計画の策定や施策取組みを企画することが衣浦4市町、及び近郊都市の行政の役割ではないかとも思います。	電気自動車に関するご提案につきましては、まだまだ新しい技術であることから定住自立圏の事業として取り組むべき内容であるかを含め、今後、協定内容の見直しが行われる場合の参考として活用させていただきたいと思います。 また、道路関係のご提案につきましては「衣浦定住自立圏共生ビジョン案」の25ページ下段にあります「幹線道路の整備促進事業」の内容として、圏域内で計画される幹線道路の整備に関し、必要な協議及び関係機関への要望を行い、道路整備の促進を図るとしており、その効果として圏域生活の利便性及び防災機能が向上することを目指していることから、ご提案の趣旨に近い事業展開ができる可能性が高いと考えます。
4	12月7日	メール	民間企業(商店)との共同 (コラボ)企画の推進	新規事業 の提案	都市機能の整備につき行政単独だけでなく、官民共同での企画検討も加えて戴きたいと思います。 例えば、最近、ネットスーパーなるサービスが拡充されてきました。このサービスを、高齢者に利用促進の支援策や、小規模の商店等がこのサービスを提供できるような支援や組織化を図るとか。 このネットサービスが整備されると、行政バスの代替メニューになるかもしれません。 また、このようなサービスが市民に定着できれば、将来、行政バスのデマンド化の運用も簡単に受け入れられるようになると思います。	官民が連携した事業としまして「衣浦定住自立圏共生ビジョン案」24ページ上段に「特産品フェア開催事業」で、「圏域内の特産品や土産品を集め、刈谷ハイウェイオアシスなどの集客施設において関係市町合同の特産品フェアを開催する。」としており、ご提案の趣旨に近い事業内容ができると考えています。 しかしながら、ネットスーパー等への事業展開につきましては、上記の事業等の内容を踏まえて検討する必要があることから、今後の課題とさせていただきたいと思います。